

A 病院の AYA サポートチームに期待される役割の現状と課題

1. 研究の対象

2018 年度、AYA サポートチームが介入した方 69 名

2. 研究目的・方法

研究の目的：2018 年度の AYA サポートチームの介入依頼内容と介入の実際を後方視的に調査し、A 病院における AYA サポートチームに期待される役割の現状と課題を明らかにする。

研究期間：令和元年 月 日（倫理審査承認日）～2020 年 3 月 21 日

調査方法：診療録（電子カルテ）調査

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：介入時の年齢・診療科・病名・PS・介入依頼項目・介入の実際・介入期間・転帰など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：大阪市都島区都島本通 2 丁目 13 番 22 号

電話：06-6929-1221

研究責任者： 地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
緩和ケアセンター 三品 陽子